



令和5年度 北九州市立貫小学校 学校経営方針

～一人ひとりがいい味出し合う学校～

北九州市立貫小学校 校長 大谷 久美

本市がめざす子ども像
～SDGsの視点を踏まえたシビックプライドの醸成～

- 自立し、思いやりの心をもつ子ども
- 新たな価値創造に挑戦する子ども
- 本市に誇りをもつ子ども

学校教育目標
「優しい心とたくましさこそをそなえ、自ら学び自ら考え行動する実践力のある子どもの育成」
【校訓 やさしく かしく たくましく】
～ポストコロナの学校教育の創造・挑戦・協働 今は未来のためにある～

めざす学校像
～学びがい、通わせがい、働きがいのある学校～

- 子どもが「この学校で学びたい」と思う学校
- 保護者が「この学校で学ばせたい」と思う学校
- 職員が「この学校で働きたい」と思う学校

めざす子ども像【やさしく】
「優しい心を持ち、相手のことを考え行動できる子ども」

めざす子ども像【かしく】
「自ら学び、豊かな思考力と表現力がある子ども」

めざす子ども像【たくましく】
「健康でたくましく、最後までやり遂げる子ども」

【重点目標】
1 人権教育の推進～支持的風土のある集団づくり～
2 一人ひとりが持ち味を発揮する学校・学年・学級経営
3 生徒指導の推進
4 特別支援教育の推進
5 あいさつの充実～自分も相手も気持ちよくなるあいさつをしよう～

【具体的な方策】
①貫小人権教育プログラムに基づく実践
全校一斉人権学習公開授業、授業実践レポート
あいさつ運動、ハートあったかカード、ふわふわ言葉の木、ぬきっこ集会
②集団の一員として、一人ひとりが活躍する場の設定
・適材適所による校務分掌、学級活動
③生徒指導体制の確立
・初期対応と組織的な対応（危機管理のさしすせそ）
・「報告」「連絡」「相談」「記録」、管理職による「確認」
・月1の生徒指導全体会で児童の情報を共有しチームで対応
④特別支援教育体制の確立
・特別支援教育コーディネーターを中心にした体制づくり
児童理解促進、ケース会議、保護者・関係機関等との連携
・月1の特別支援全体会で児童の情報を共有し、チームで対応
⑤自分から、相手を見て、立ち止まってなどの具体を提示

【重点目標】
1 学びの質を高める授業づくりへの挑戦
2 一部教科担任制、専科指導の充実
3 ICTを活用した授業改善
4 読書活動の推進
5 家庭学習習慣の定着

【具体的な方策】
①主題研究、若年研修を生かした指導力の向上
・メンティーがメンターを選ぶ主体的な人材育成
・「『学びの質を高める授業づくり』4つのステップ」における各自の目標設定～自己評価・自己申告に掲載、PDCAで振り返る
②校務分掌に一部教科担任制部会を位置付け、主任を中心としたマネジメント
③「個別最適な学び」「協働的な学び」のためのICT活用
・ドリルアプリを用いた基礎・基本の定着
・家庭学習での活用など、日常的にICTに触れる場の設定
・ICTアドバイザー候補者による積極的な情報提供や校内研修会の実施
④図書の日間や「準備」の時間を活用した日常的な読書活動
⑤学力向上推進委員会を中心とした家庭学習マニュアル等の作成、家庭への啓発
・「貫小スタンダード」の共通実施

【重点目標】
1 運動技能向上を自覚できる体力向上
2 凡事徹底
3 長期欠席（不登校）支援
4 食物アレルギー対応給食・フッ化物洗口の安全徹底
5 熱中症・感染予防対策

【具体的な方策】
①ICTを活用した体育科の授業づくりと1校1取組の工夫
・自己の課題→動きの確認→学び合い→振り返り（技能向上）
・新体力テストの結果を踏まえた楽しく体力向上を図る場の工夫として、年間を通した1校1取組の実施
②共通理解に基づく、凡事徹底
・貫小三則（あいさつ・チャイム席・掃除）の徹底
・下校時間の厳守、忘れ物に対する指導、提出物の厳守、保健室のルール
③校内委員会の積極的活用と関係機関との連携
・児童支援加配等による登校支援、支援会議、登校状況確認表の活用
・SC、SSW、特別支援教育相談センター、医療、不登校支援センター、教育支援室等との連携
④養護教諭、管理職とのダブルチェックで事故防止
⑤平素の測定管理と基本的な感染対策の継続実施（換気、手洗い、消毒）
・WBGTの計測徹底、授業実施上の留意点に基づく指導

めざす教師像～情熱と豊かな人間性と信頼～

- 子どもに「正しいこと、大切なこと」を教え、範を示す教師
- 子どもに明るく接し、あたたかい言葉をかける教師

めざす教師像～実践的指導力の向上～

- 子どもの力を伸ばすために、日々の授業を大切にす教師
- 指導力の向上を目指し、互いに支え合い、高め合う教師

めざす教師像 ～チーム貫小 しなやかにアップデート～

- 子どもと共に汗を流し、チームの一員として行動できる教師
- 「子どものために」を合言葉に、変化に柔軟に対応できる教師

心身共に元気に働くための令和5年度合言葉 30（スリー オー）
10（ワン オー）おはようございます・・・いつでも、どこでも、何度でも（職場環境）
20（ツー オー）おしえてください・・・一人で悩まず、まず相談（一人ぼっちにならない、させない）
30（スリー オー）おつかれさまです・・・めりはりて、自分時間を大切にしよう（業務改善・WLB）

